

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和7年度)

(宛先)岡崎市長

令和8年4月3日

団体名 高齢者体験サポータークラブ

代表者 木村 一彌

構成員 10人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。  
 高齢者福祉に関する必要な知識を身に付け、福祉実践教室の場を、高齢者に対する理解を広める活動を行い、地域の高齢者福祉活動の推進、啓蒙等に寄与することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
7/3	男川小学校	生徒	91人	体の装具を付けて、廊下や階段を歩いたり、豆つくりの体験を行いました。
10/7	上地小学校	"	65人	⚡
11/4	根石小学校	"	110人	⚡
12/9	岩津小学校	"	90人	⚡

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

アイマスクを付けて目の不自由な方の体験、体に庫りを付けて体の不自由さの体験などを通じて、高齢者になるという事や本来なくなる事を理解してもらえた。困っている人の手助けする事の必要性を認識してもらえた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)  
 高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。  
 困っている人を手助けする事を気にかけてもらった事

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。